

第80回全日本総合ハンドボール選手権大会
 <戦評記入用紙>

*会場 いしかわ総合スポーツセンター Aコート・Bコート

*スコアー

三重ホンダクラブ	22	10	—	14
		12	—	9
		—	—	—
		—	—	—
		—	—	—
				23 HONDA

*見出し

三重ホンダが意地を見せるも、あと一步およばず!

HONDAはいわば兄貴分である三重ホンダクラブとの一戦。高さや経験の三重ホンダクラブに対し、HONDAはスピードと切れで勝負を挑む。立ち上がりゲームの主導権を握ったのはHONDA。スピード豊かな野嶋のロングやカットインなどで12分過ぎには9-4と5点差をつける。HONDAディフェンスの早いつぶしに苦しんでいた三重ホンダクラブだが、加藤のステップやカットイン、青藤のロングで対抗し、守っても守護神橋本の好セーブで点差を詰める。24分には2点差まで迫るが、スタミナが切れたところでHONDA横地のカットインなどで、前半はHONDA4点リードで終了。

後半にはいるとHONDAが突き放しにかかる。横地のカットインなどで加点するが、三重ホンダクラブも加藤のカットインなどで食いさがり、28分、阿部のサイドでついに同点に追いつく。その後1点ずつ取り合った後、HONDA竹田のミドルが決まり、熱戦に終止符を打った。日本リーグ勢に一步も引けを取らない三重ホンダクラブの意地と技が光った一戦だった。